

米の生産コスト低減に向けた取組について（令和5年度実証事業）

令和5年度『稲作農業の体質強化に向けた超低コスト産地育成事業』取組事例

- 事業実施主体：愛知県米トータル生産コスト低減対策協議会（県、4市町村、JA 等）
 - 農業者：5経営体
 - 水稲作付面積：148ha（R5年度）

コスト低減効果：R2年度 14,082円/60kg ⇒ R5年度 11,019円/60kg (▲3,063円/60kg)

※肥料高騰対策による補てん金は未反映、農機レンタル分は減価償却費として算入。
R6年度 9,600円/60kg（目標）

■ 主な取組内容【R5年度】：

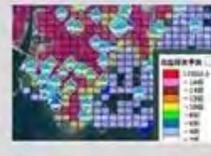
技術実証に係る取組

『V溝直播 + 止水板 + 水位センサー + 自動給水装置』
⇒育苗時間削減、作期分散による生産性向上、
水管理見回り回数減少による労働費の削減
(慣行：3.9回/週 ⇒ 設置後：1.7回/週)



『AgriLook（生育予測診断システム） + 衛星画像診断』による適所施肥
⇒生育不良圃場の把握により、追肥ほ場では、単収が向上

コシヒカリ 追肥なし：466kg/10a、追肥あり：528kg/10a
あいちのかおり 追肥なし：565kg/10a、追肥あり：640kg/10a

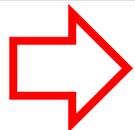


生産コスト分析、人材育成に係る取組

- コンサルタントによる
 - ✓ コスト・経営分析
 - ✓ コスト低減・経営改善指導研修
- 生産者の
コスト意識向上
- ※コンサル料を出荷数量で割ると208円/60kg
(上記の全算入コストには含めず)

生産コスト低減の検討、成果普及に係る取組

低コスト生産のための改善検討会の開催
取組成果報告会の開催



米の生産コスト低減により、

- 主食用米の米価変動に耐え得る生産
- 輸出等の新市場開拓用米の可能性を拡大

■ 今後の課題

主食用米の生産を集約し、他作物の生産を拡大